

2015年メキシコ中間選挙(6月7日実施)ー注目のポイントー

①ペニャ・ニエト政権の構造改革は継続、今後はその深化が問われる。

(1)構造改革を推進することについては、既に主要政党間でコンセンサスがあり、選挙戦の争点とならず(構造改革は、主要3党(制度的革命党(PRI), 国民行動党(PAN), 民主革命党(PRD))の与野党合意に基づいて推進されている。)。このことはサリーナス政権(1988-94年)以降の北米自由貿易協定(NAFTA)の下での発展モデルにつき、国内に緩やかなコンセンサスが形成されてきていると見ることができる。

(2)与党PRIは単独で議席数を減らしたものの、選挙協力を行った緑の党(PVEM)とあわせて250議席獲得し、ほぼ現状維持。国会運営において協力関係にある新同盟党(PANAL)をあわせれば260議席と引き続き過半数を確保(注)。

(3)現政権にとっては、2018年大統領選挙に向けて、構造改革の成果を国民が実感できるようにすることが課題。ペニャ・ニエト大統領は、選挙後の国民向けメッセージにおいて、与野党協力による改革の更なる前進を強調。なお、今後の議会運営については、PRI-PVEM-PANALの議席数を踏まえれば法案審議における大きな困難は想定されず。

(注)1997年以降、いずれの政党も単独で下院議会における過半数を獲得しておらず、特に中間選挙では与党が苦戦してきたこと、且つ、昨年後半よりペニャ・ニエト政権が治安・汚職問題で逆風に直面していたことに鑑みれば(別添資料参考)、与党PRIにとって十分な善戦と言える。



6月7日夜、ペニャ・ニエト大統領は国民向けメッセージにおいて、無事の選挙実施を讃えるとともに、対話を通じた改革の前進を強調。

②「左派」勢力の分裂。

(1)PRDは、新自由主義改革に反対する元PRI党員と、左派諸勢力が勢力糾合して結成された党であり、88年大統領選で善戦して以来、反PRI運動の中心として勢力を伸ばし、カルデナス元大統領候補、ロペス・オブラドール前大統領候補というカリスマ指導者の下で結束を維持してきた。近年、一定の勢力を得たことを背景に、脱カリスマ指導者、そして責任政党としてのあり方を模索する「新左派」が主流化、同グループは与野党協力による構造改革に貢献した。しかし、2012年にロペス・オブラドール前大統領候補、2014年にカルデナス元大統領候補が離党、深刻な党内分裂に直面した。加えて、2014年ゲレロ州での教員養成学校学生襲撃事件(43人が殺害されたとされる)に自党の地方政府関係者が関与していたことから政治腐敗を迫られた。

(2)この結果、PRDは下院第3党の勢力を維持したものの、議席数を101議席から56議席に大幅に減少させたほか、選挙協力を行った労働党PTは必要得票数を満たせず政党登録抹消に直面、またロペス・オブラドールPRD前大統領候補率いる新設政党「国家再生運動(MORENA)」が35議席獲得という躍進を許すなど、PRDは勢力を減退させた。なお、地方選挙では、ゲレロ州をPRIに奪われたが、ミチョアカン州を奪還して一増一減、他方、メキシコ市議会及び同区議選においてMORENAの大幅躍進を許している。

③前与党PANは勢力減退を回避

(1)2000年の政権交代以降、マデロ党首派とカルデロン前大統領派の深刻な党内対立、及び自党議員の汚職疑惑等に直面したPANは、マデロ党首の指導力回復を背景に、連邦下院議会では6議席減の108議席を確保、知事選挙ではソノラ州で知事ポストを失ったが、ケタラ州で政権を奪還、またPRIの強固な基盤であったコリマ州でPRI候補に善戦(僅差で敗北)するなど、全般的に現状維持に成功したと言える。

(2)他方、党内には下院議員選で得票率が約5%低下したこと、PRIが逆風に直面していた勝てる選挙で勝てなかったと指導部を非難する声もあり。6月14日には、カルデロン前大統領夫人が党内調整を経ずに2018年大統領選挙に立候補する意向を示すなど、引き続き党内の団結が課題。

④選挙はほぼ無事に終了、試された新選挙制度



山田大使はじめ大使館員による選挙監視。秩序だった投票が行われていた。

(1) 今次選挙は、2013年憲法改正、2014年選挙関連法改正を踏まえ、新選挙制度の下で開催された初の国政選挙。同制度では、選挙機関が組織改革され、全国選挙機関(INE)が連邦選挙の運営実施のみならず、州選挙機関の監督を担うことになり、また政治資金・広報の上限に違反した場合の選挙無効等が定められた。

(2) 当国では、1990年に選挙機関が行政府より独立して以来、制度としては概ね透明性が確保されている。一方で実態においては、今次選挙では教育改革に反対する教員や一部過激グループが選挙実施反対を訴えて選挙関連施設の破壊を行ったほか、選挙直前の5月末現在で選挙関連殺人事件被害者数が20名以上と過去の選挙に比して数倍に上るなど、無事選挙を実施できるか注目された。

(3) 結局、中間選挙として2003年以来最高の47.72%という投票率を記録、また無事設置された投票所は99.95%に上るなど、中間選挙はほぼ無事に終了したと言える。

(4) 他方、繰り返し指摘されたPVEMの選挙広報違反につき、厳罰を科すか否かにつき、INEと最終的な決定権限を有する連邦選挙裁判所の見解が異なるなど、制度上の課題を残す結果となった。

⑤注目された独立候補

(1) 今次選挙では、ロドリゲス・ヌエボレオン州知事候補や、日系のクマモト・ハリスコ州議会議員候補が当選するなど、新選挙制度の下で認められた独立候補の躍進が注目された。ロドリゲス候補の勝因としては、都市部ゆえのネットを通じたキャンペーン、PRI知事の汚職疑惑、PANの分裂など様々な特殊要因が指摘され、同様のことを他州で模倣することは難しいと見られており、また、自派勢力を連邦議会、州議会、市長等に持たない知事が成果を出せるのかという点も指摘されている。

(3) 主要三政党が議席数を落とし、小規模政党が勢力を伸ばすなど、既存の政党に対する不信は拡大しつつあると指摘される。また世論調査では、特定の政党に常に投票する固定支持層が2003年の47%から今回31%まで低下したとの結果が出ている。このような背景により、今後、独立系候補が増加していく可能性があるだろう。



ヌエボ・レオン州知事選に勝利したロドリゲス、通称「エル・ブロンコ」候補。Facebookより米州で最もユーザーとの接点が多い政治家として表彰された。

2015年6月7日中間選挙の結果

(参考資料)

主要3党(PRI,PAN,PRD)は全て得票率減少。主要3党で全得票の6割以上を維持、但し、同数値は2012年から約15%減少。

PRIは10議席減、PVEMの善戦により、PRI+PVEMは9議席増の250議席。PANは得票5%減だが、議席は6議席減に留まる。PRDは45(PT議員6名が合流する場合は39)議席減。

1. 連邦下院議会選挙

政党	2003-06年議席	2006-09年議席	2009年得票率	2009-12年議席	2012年得票率	2012-15年議席	2015年得票率	2015-18年議席
PRI	224	104	36.94%	242	31.89%	213	29.19%	203
PAN	151	206	28.01%	142	25.90%	114	21.02%	108
PRD	97	126	12.19%	63	18.37%	101	10.87%	56
PVEM	17	19	6.71%	22	6.10%	28	6.92%	47
Convergencia/MC	5	16	2.46%	6	4%	20	6.10%	26
PT	6	16	3.66%	14	4.58%	14	2.85%	6
PANAL	0	9	3.42%	8	4.08%	10	3.73%	10
MORENA	0	0	n.a.	0	n.a.	0	8.39%	35
その他	0	4		3				9

与党及び協力政党
PRI+PVEM(+PANAL)
=250(260)

2. 州知事選挙

選挙実施州	1929	1996	1997	1998	1999	1992	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
Baja California Sur			PRI																										
Campeche																													
Colima																													
Guerrero																													
Michoacán																													
Nuevo León																													
Querétaro																													
San Luis Potosí																													
Sonora																													

強固なPRI基盤の2州(政権交代無し)。但し、コリマ州ではPANが僅差に迫った。

注: 上記2州以外は政権交代の過去がある。今回政権交代したゲレロ州、ミチオアカン州、ケタロ州、ソノラ州は、過去に政権を担ったことのある党が返り咲いた。ヌエボ・レオン州は、PRIとPANの二大政党が崩れた。

主要政党に対する支持率(「エル・ユニベルサル」紙—Buen día&Laredo社)(有効回答に占める割合)

